

令和 6 年度予算編成方針

令和 6 年度事業計画策定及び予算編成にあたって

本市においては、奈良市第 5 次総合計画及び第 2 期奈良市総合戦略で掲げるまちの方向性の実現に向けて、人口減少への対応に向けた持続的な発展を目指すための重点分野を中心に施策を実施し成果を挙げていくことが求められている。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が 5 類へ引き下げられたことにより、コロナ禍からの脱却が進み、インバウンド需要の回復とサービス消費の持ち直しが期待され、景気回復は続くと思込まれる。しかし、国際情勢や物価高騰を背景にその回復基調は鈍化していくと予想され、本市においても物価高騰の影響により、令和 6 年度においても経常経費の増加により、厳しい財政状況になることが予測される。

また、最少の経費で最大の効果を目指し、歳出を抑制しつつ、行政サービスを低下させることなく、本市が目指すまちの姿を実現するため、全庁一丸となってゼロベースで施策の手法の見直しや改善を進め、厳しい財源の状況においても、歳入歳出の収支の均衡をしっかりと堅持しながら、将来にわたり持続可能な財政基盤の確立を図る必要がある。

このような状況を踏まえ、令和 6 年度予算編成の新規事業については、複雑化する行政課題に対応するため、職員に対して幅広く課題解決に向けた取り組みを募集するとともに、既存の事業の見直しを徹底することで、財源を確保し、本市の掲げる重点分野を中心に未来への投資を行うとともに課題解決に向けた取り込みを前進させ、コストを増加させずに市民の利便性を高めつつ、経費の見直しや働き方を見直しに繋がる施策を推進する。